

## 東急アクセラレートプログラム2020 Demo Dayを開催 ～最優秀賞は株式会社ヘラルボニーが受賞～

東急株式会社

当社は、3月18日(木)にShibuya Open Innovation Lab(SOIL)において、スタートアップを中心とした企業との事業共創を推進する「東急アクセラレートプログラム2020」(以下、当プログラム)のDemo Day(以下、デモデー)を開催しました。今年度のデモデーでは、「東急賞」「渋谷賞」「二子玉川賞」「SOIL賞」を決定し、最優秀賞にあたる「東急賞」には、株式会社ヘラルボニーを選定しましたので、お知らせします。

株式会社ヘラルボニーは、日本全国の福祉施設でアート活動をする障害のある作家と契約を結び、アートライフブランド事業やアートライセンス事業を通して社会に新しい価値を提案しています。

事業共創を行う株式会社東急百貨店とは、2020年11月から東急百貨店本店でのポップアップショップの展開による作家の作品展示と販売、作品展示終了後のアップサイクルによるトートバッグの販売を実施しました。また、東急株式会社の街まるごとメディア事業「ROADCAST」とは、2020年12月から未稼働時における作品掲出と、付随するQRコードによるプロダクトの販売に取り組んでいます。今後も、東急百貨店のチャリティープロジェクトなどの企画や、ROADCASTとの連動企画を行う予定です。

デモデーでは、審査員による協議の結果、新規性、社会性が高いだけでなく、持続可能性も意識したうえで、既に複数の事業者との事業共創にも取り組んでいることから、社会的意義や今後の発展性が大きいと判断し、東急賞に選定しました。そのほかの5社とも、東急グループの事業資産を活用したテストマーケティングなどの結果を踏まえ、業務提携などを検討します。

また、今年度から、最も積極的に応募企業との事業共創に取り組んだ東急グループの参画事業者を表彰する「ベストアライアンス賞」を設置し、株式会社東急百貨店を選定しました。

2020年度で第6期となる東急アクセラレートプログラムは、TOKYU 2050 VISION「東急ならではの社会価値提供による世界が憧れる街づくり」の実現に向けた「City as a Service」構想(以下、CaaS構想)推進チームも新たに加わり、東急グループ19社が参画、17の領域を対象テーマとした、幅広い顧客接点を活かしたプログラムへと進化を続けてきました。第4期からは通年応募制を採用、第5期からは一次審査結果の通知期間を応募から最短2週間に短縮したうえ、東急グループの参画事業者が求める技術やサービスの一覧化を進めるなど、取り組みの質・量・スピードをレベルアップさせるとともに、オープンイノベーションの「仕組み化」を推進してきました。

今年度は、「東急グループの誰もがオープンイノベーションという選択肢を持ち、実行できる状態」を目指すべく、オープンイノベーションの「民主化」と銘打ち、応募企業のプレゼンテーション動画を東急グループポータルサイトへ公開するなど、より多くの事業者が積極的に応募企業との事業共創を検討できる体制を整えました。こうした取り組みを進めた結果、今年度はこれまで146件の応募(過年度累計791件)があり、東急グループの各事業者との事業共創検討を随時進めることで、52件のテストマーケティングや実証実験および試験導入を実施(実施決定の6件を含む)、21件の事業化や本格導入、7件の業務・資本提携が実現しています。

2021年度からはオープンイノベーションをさらに浸透させることで、参画事業者以外も含めた東急グループの幅広い事業アセットを活用した事業共創による新たな価値創出に挑戦していきます。

当社は今後も、スタートアップ企業などとの事業共創によって、多様化するニーズに迅速に対応し、イノベティブなまちづくりを行います。デモデーの各賞受賞企業、各企業との事業共創内容、当プログラムの概要は別紙のとおりです。



▲「東急アクセラレートプログラム2020」Demo Day授賞式の様子

※本年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、Web会議サービスなどを活用して開催しました。

以上

## 【別紙】

### 「東急アクセラレートプログラム2020」 Demo Day開催概要及び受賞企業

#### ■開催概要

- ・日 程:2021年3月18日(木)14時30分～17時30分
- ・場 所:Shibuya Open Innovation Lab(SOIL)  
(住所/東京都渋谷区渋谷一丁目13番9号 渋谷たくぎんビル7階)

#### ■受賞企業

- ・東急賞(賞金1,090,000円):株式会社ヘラルボニー
- ・渋谷賞(賞金428,000円):株式会社シン
- ・二子玉川賞(賞金250,000円):ウミロン株式会社
- ・SOIL賞(賞金100,000円):株式会社アイリッジ、フラール株式会社、株式会社カンリー

#### ■審査員

(外部審査員)

- ・グローバルIoTテクノロジーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長 安達 俊久 氏
- ・SBIインベストメント株式会社 執行役員 CVC事業部長 加藤 由紀子 氏
- ・デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社 代表取締役社長 斎藤 祐馬 氏
- ・Spiral Capital シニアアソシエイト 立石 美帆 氏

(当社審査員)

- ・東急株式会社 取締役社長 社長執行役員 高橋 和夫 (審査員長)
- ・東急株式会社 取締役 常務執行役員 フューチャー・デザイン・ラボ管掌 藤原 裕久
- ・東急株式会社 執行役員 沿線生活創造事業部長 金井 美恵

#### ■東急グループ内表彰

- ・ベストアライアンス賞:株式会社東急百貨店

#### ■Demo Day登壇企業との事業共創内容

##### 1. 株式会社アイリッジ

【共創企業:東急建設株式会社】

- ・所在地:東京都港区麻布台1-11-9 BPRプレイス神谷町10階
- ・代表者名:小田健太郎
- ・設立年月:2008年8月
- ・サービス名:RFID Tool Management
- ・会社 URL:<https://iridge.jp/>



【事業共創内容】

アプリマーケティングソリューションの提供を中心としたインターネットサービスの企画・開発・運営を行うアイリッジは、鉄道関連工事を行う企業向けの工具管理ソリューション「RFID Tool Management」の製品化を進めています。工事前に、軌道内工事に持ち込む工具をRFID(非接触型電子タグ)によってスマートフォンアプリに事前登録し、工事終了後に持ち込んだ工具と持ち帰った工具が一致しているかを瞬時に確認することで、その結果を責任者にオンライン上で共有でき、照合作業にかかっていた作業量を約80%削減します。鉄道構造物の維持管理工事を担う東急建設とは2020年4月からモックアプリの開発を進めており、現場で実際に利用する際の使い勝手をヒアリングしながら実験を進めています。今後は、アイリッジと東急建設で「RFID Tool Management」をさらに発展させ、日々の工具管理や業務報告をスピーディーかつ正確に行い、鉄道関連工事のデジタルイノベーションを推進することで、業務効率化および生産性向上・働き方改革を目指します。

##### 2. ウミロン株式会社

【共創企業:株式会社東急ストア】

- ・所在地:東京都品川区東五反田1-10-7 AIOS五反田ビル1102号
- ・代表者名:藤原 謙
- ・設立年月:2016年4月
- ・サービス名:うみとさち



・会社 URL: <https://umitron.com/ja/index.html>

#### 【事業共創内容】

「持続可能な水産養殖を地球に実装する」というミッションの下、水産養殖の現場にAIやIoT、衛星リモートセンシングのテクノロジーを提供するウミトロンは、持続可能性に配慮した養殖魚の認知向上・消費促進に取り組んでいます。ウミトロンが展開するシーフードアクション「うみとさち」の新たなチャレンジとして、2021年2月に東急ストアの5店舗にて海の環境に配慮した養殖魚をテスト販売し、生産者や魚の情報や魚を美味しく食べられるレシピがわかるQRコード設置などの仕掛けを行い、認知拡大と購買行動促進を図ることで、サステナブルな魚を用いた豊かな食卓づくりに取り組みました。その結果、当初想定していた若年層だけでなく、幅広い年齢層のお客さまにご購入いただき、サステナブルシーフードへの関心がより広範であることがわかりました。今後は、情報発信の強化により「うみとさち」の認知をより高めるとともに、生産者への技術提供を拡大し、サステナブルシーフードの流通を増やすことで、ウミトロンと東急ストアは地球にやさしい食卓の普及を目指します。

### 3. 株式会社シン

【共創企業: 株式会社東急百貨店】

・所在地: 東京都目黒区青葉台3-18-3-201号

・代表者名: 大見周平

・設立年月: 2019年6月26日

・サービス名: Chompy(チョンピー)

・会社 URL: <https://syn-inc.com/>



#### 【事業共創内容】

「まいにちの暮らしを、おいしく笑顔に。」を目指したフードデリバリーサービス「Chompy」を展開するシンは、個店を中心とした魅力的な店舗ラインナップで「おいしさ」を、まとめて配達する仕組みの導入で「安さ」を実現しています。東急百貨店とは、2020年8月から3か月間、渋谷スクランブルスクエア内「東急フードショーエッジ」の19店舗の商品を「Chompy」から注文いただくと1時間以内に自宅・オフィスなど指定の場所に配達する実証実験を実施し、その後対象店舗を9店舗加えた計28店舗に拡大するなど、本格展開へと事業共創のステップを進め、8月からの約半年間での注文総数は約4,000回に達しています。今後もシンと東急百貨店で「デパ地下体験」をデリバリーしていくとともに、場所や商品の制限なくほしいものが届く、デリバリーを起点とした百貨店のOMO化と新たな顧客体験の創出にも取り組んでいきます。

### 4. フラー株式会社

【共創企業: 東急株式会社】

・所在地: (柏の葉本社) 千葉県柏市若柴178番地4 柏の葉キャンパス148街区2 KOIL  
(新潟本社) 新潟県新潟市中央区笹口1丁目2番地 PLAKA2 2階 NINNO

・代表者名: 渋谷 修太、山崎将司

・設立年月: 2011年11月

・サービス名: デジタルパートナー事業

・会社 URL: <https://www.fuller-inc.com/>



#### 【事業共創内容】

モバイルアプリの開発支援や分析支援を行うフルーは、従来の受託開発とは一線を画し、クライアントの新規・既存事業における戦略構築からプロダクト開発・グロースまで“ワンチーム”で伴走するスタイルで事業を展開しています。今回、東急株式会社が長期経営構想に掲げるTOKYU 2050 VISION「City as a Service」構想の実現に向けたサービス開発を行っており、将来的には一人ひとりのライフスタイルに合わせた最適なサービスの提供(ウェルビーイング)と、自律的な地域経済・コミュニティ(循環型社会)の実現を支援するデジタル都市基盤の構築を進めていきます。

### 5. 株式会社ヘラルボニー

【共創企業: 株式会社東急百貨店、東急株式会社】

・所在地: 岩手県盛岡市開運橋通2-38 @HOMEDELUXビル 4階

・代表者名: 松田崇弥

・設立年月: 2018年7月

・サービス名: HERALBONY

・会社 URL: <https://www.herlbonny.jp/>



#### 【事業共創内容】



“異彩を、放て”をミッションに、日本全国の福祉施設でアート活動をする障害のある作家と契約を結ぶヘラルポニーは、アートライフブランド事業やアートライセンス事業を通して社会に新しい価値を提案しています。これまでも東急グループとは、渋谷スクランブルスクエアでのポップアップショップ展開、東急不動産の再開発現場での仮囲い壁面アート掲出などに取り組んできました。今回、2020年11月からは東急百貨店 渋谷・本店でのポップアップショップの展開によるアーティストの作品展示とプロダクト販売、作品展示終了後のアップサイクルによるトートバッグの販売を実施しました。2020年12月からは東急株式会社の街まるごとメディア事業「ROADCAST」の未稼働時におけるアーティスト作品掲出と、付随するQRコードによるプロダクトの販売に取り組んでいます。今後は、「渋谷の街を桜のアートでいっぱい。」をテーマに、東急百貨店のチャリティープロジェクトなどの企画や、ROADCASTとの「Sakura Art MUSEUM STORE」などの連動企画を行います。これからも、福祉を起点に新たな文化をつくるヘラルポニーと幅広い顧客接点を持つ東急グループで、一人ひとりの「違い」を「価値」として感じられる社会を共創していきます。



## 6. 株式会社カンリー

【共創企業：株式会社東急百貨店】

- ・所在地：東京都目黒区東が丘1-14-2
- ・代表者名：秋山祐太郎、辰巳衛
- ・設立年月：2018年8月
- ・サービス名：Canly(カンリー)
- ・会社 URL：<https://corp.can-ly.com/>

【事業共創内容】

Google 検索やMap上に表示される次世代のHPとも言われる「Googleマイビジネス」や各SNSの店舗アカウントを一括管理できるクラウドサービスを展開しているCanlyは、管理・運用コストの削減、データ分析による店舗運営上の課題を特定し、施策の改善につなげることで、顧客企業の店舗経営における生産性向上に取り組んでいます。2020年9月から、東急百貨店の国内主要店舗にCanlyを導入し、改ざん防止機能などを用いた情報整備や、一括配信と一括管理機能により実現した迅速な情報発信、投稿やクチコミ分析などに取り組んできました。今後はCanlyの機能をさらに活用し、東急百貨店に関するクチコミへの返信やHP、Yahoo! など主要媒体との連携の強化、および各SNSアカウントの一括管理を行うことで、オンライン上の顧客との双方向のコミュニケーションを強化していきます。さらに、東急グループの他事業にも水平展開を図り、情報発信の効率化とデータ活用にも取り組むことで、東急グループの店舗や施設を利用される方々に、信頼されるインフラをつくっていきます。

(参考)

### ■「東急アクセラレートプログラム」について

#### (1) 概要

2015年度から、スタートアップを中心とした企業との事業共創を図る「東急アクセラレートプログラム」を実施しています。本プログラムを通じて、東急グループの最重要拠点である「渋谷」を東急線沿線の生活利便性を高める新たな価値創出の場にするだけでなく、スタートアップ企業などの持続的成長を実現するグローバルなイノベーション拠点にすることを目指しています。

「交通」「物流・倉庫」「不動産」「建設」「百貨店・スーパー・ショッピングセンター」「広告・プロモーション」「デジタルマーケティング」「カード・ポイント・ペイメント」「スマートホーム・スマートライフ」「ツーリズム」「ホテル・ホステル」「エンターテインメント」「スポーツ」「ヘルスケア」「教育・カルチャー」「電力」「セキュリティ」の17の事業領域を中心に、東急線沿線の生活利便性を高めるBtoC、BtoBtoCのサービスやプロダクトを募集。審査を通過した企業は、東急線沿線に集積する東急グループの広告媒体や施設、顧客基盤、営業網、株式会社東急総合研究所の各種調査データなどを利用したテストマーケティングを行えるほか、東急グループ各社との業務提携なども検討します。

2018年度からは24時間365日応募受付をしています。該当月末で締切り、翌月上旬に一次選考(書類)、翌月下旬に二次選考(プレゼンテーション)を行い、事業共創のブラッシュアップを重ねてきました。

なお、2020年度デモデー各賞受賞対象企業は、今年度、テストマーケティングなどの事業共創を開始、もしくは実施することが決定した企業が対象です。デモデー後は、引き続き事業共創を進めていく予定です。

#### (2) 東急アクセラレートプログラム参画企業一覧(全19社※・五十音順)

- ・ Connected Design株式会社
- ・ 株式会社SHIBUYA109エンタテイメント
- ・ 東急株式会社

- ・ 株式会社東急エージェンシー
- ・ 東急カード株式会社
- ・ 東急建設株式会社
- ・ 株式会社東急シェアリング
- ・ 株式会社東急ストア
- ・ 東急スポーツシステム株式会社
- ・ 東急セキュリティ株式会社
- ・ 株式会社東急総合研究所
- ・ 東急電鉄株式会社
- ・ 株式会社東急パワーサプライ
- ・ 株式会社東急百貨店
- ・ 東急不動産ホールディングス株式会社
- ・ 株式会社東急ホテルズ
- ・ 東急メディアコミュニケーションズ株式会社
- ・ 株式会社東急モールズデベロップメント
- ・ 株式会社東急レクリエーション

### ■TOKYU 2050 VISIONとCaaS構想について

TOKYU 2050 VISIONとは、当社が2019年9月に公表した、長期経営構想（2030年までの経営スタンスおよびエリア戦略・事業戦略などを取りまとめた経営構想）において言及した、2050年に東急グループがやりたい姿を表現したVISIONです。

CaaS(City as a Service)構想は、TOKYU 2050 VISIONが目指す、生活者一人ひとりのウェルビーイングの追求や、持続可能な循環型社会の追求のために、これまで培ってきたリアルな街づくりに加えて、最先端のデジタル技術を積極的に活用したこれからの街づくりの構想です。

URL : <https://www.tokyu.co.jp/ir/manage/lplan.html> (当社HP: 長期経営構想について)



▲TOKYU 2050 VISIONとCaaS構想